



広報せき

Seki Gocoro

2019
11

No.1705



卷頭
特集

健康という 財産

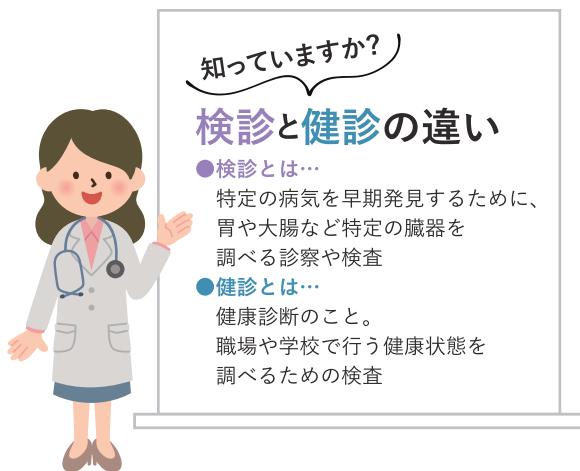
TOPICS

- 関の工場参観日 6-7P
- サークル参観日 8-9P
- INFORMATION 12-32P
- 予育てカレンダー 35P



Seki Gocoro 11

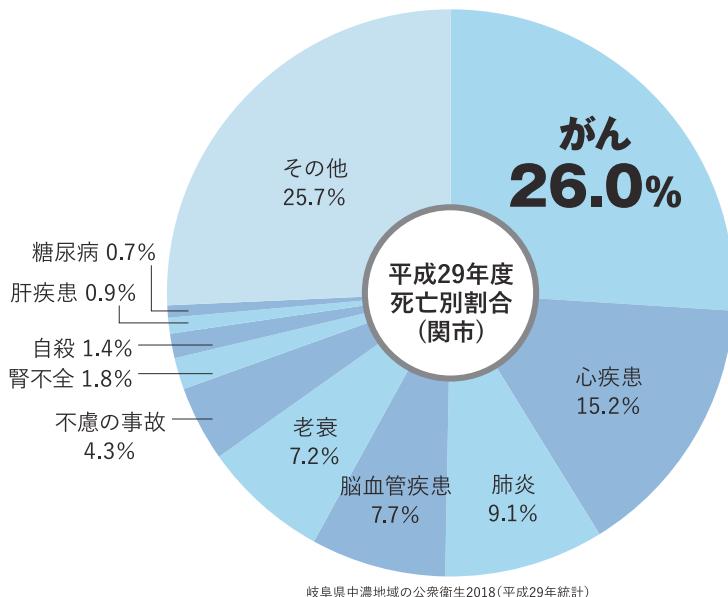
健康という 財産



がん検診は市民の皆さんに案内を送付していますが、受診率は約2割にとどまっています。仕事や子育てが忙しいからと検診を後回しにしていませんか。自分の体は大丈夫と思っていても、あなたが気づかないうちに、がんは忍び寄って来るかもしれません。今回の特集では、がん検診の必要性や受診方法を分かりやすくお伝えします。いつまでも健やかで幸せな生活を送るために、健康という財産を守りましょう。



担当課 市民健康課
☎ 24・0111



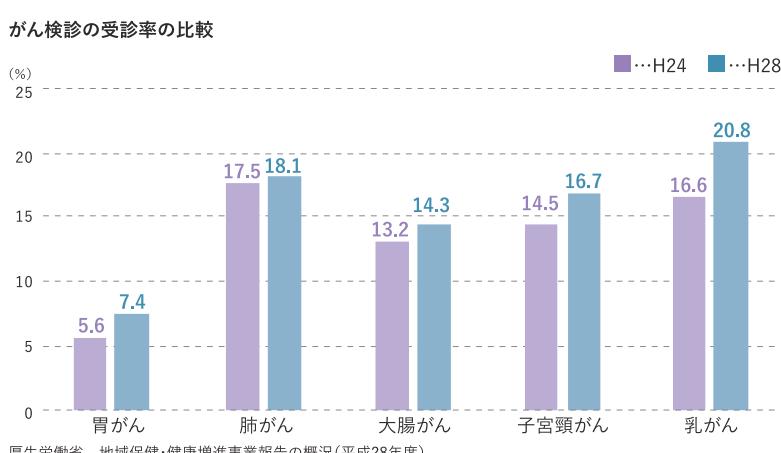
死亡要因の
第1位は、がん

2人に1人はがんを発症する時代。市内のがん死亡率の推移は微増傾向にあり、亡くなる人のおよそ4人に1人はがんで命を落としています。特に、気管（支）及び肺と胃にがんを発症する人が多くなっています。

市の受診率は全体的に

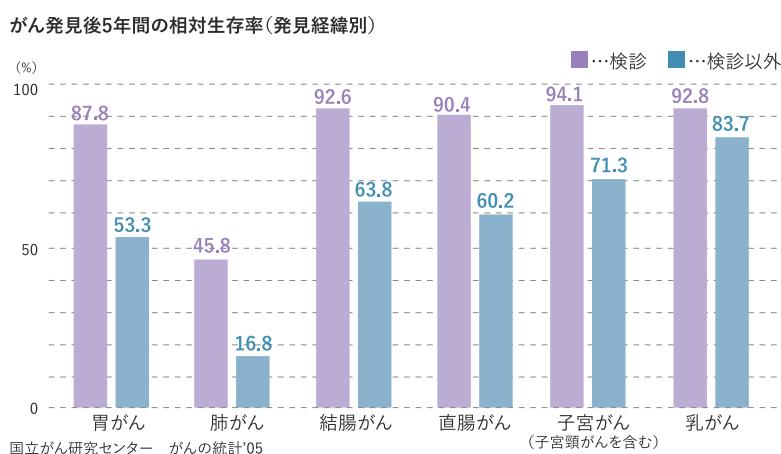
約2%アップ!!

H24とH28のデータを比べると、受診率が全体的に2%ほど上がっていることが分かります。特に、子宮がんや乳がんといった女性特有のがんの受診率の伸び率は3%以上と高く、健康への関心の高さが伺えます。しかし、全体の対象者数からみれば、まだ受診率は低い状態です。



検診で早期発見

検診で見つかるがんは早期発見される場合が多い傾向です。発見後の5年間の生存率を比較すると、検診以外で発見された場合に比べて胃がん・直腸がんの生存率は30%近く高いです。検診で早期発見することが、いかに大切であるかが分かれます。



関市がん検診

Q&A

A 令和2年2月末まで。	Q2 今年度の期限はいつまでなの?	A 原則全市民。	Q1 誰が受けられるの?
あと4ヶ月です。	ただし、年齢などにより検診メニューが異なります。		

● 今年度、未受診の人は検診のギモンを解消して、実際に検診への一歩を踏み出しましょう。

検診名	対象	主な検査方法	費用
胃がん	40歳以上	バリウム検査	500円
	50歳以上※1	胃部内視鏡（カメラ）検査	1,500円
胃がんリスク層別化検査	30～49歳※2	血液検査 (胃粘膜の萎縮の進行度とピロリ菌感染の有無を検査)	1,500円
大腸がん	40歳以上	便潜血検査（2日分）	500円
肺がん	40歳以上	胸部X線検査	無料
前立腺がん	50歳以上の男性	血液（PSA測定）検査	500円
乳がん	30～39歳の女性	視診・触診（選択制）、超音波検査	500円
	40歳以上の女性	視診・触診（選択制）、マンモグラフィー検査	
子宮頸がん	20歳以上の女性	視診、子宮頸部細胞診・内診	500円

※1…2年に1回。X線か内視鏡検査のいずれかを選択 ※2…過去に未受診かつ、ピロリ菌の除菌をしたことない人

A Q3 検診は何種類? どうやって検査するの?
● 検診メニューは**7種類**。検査方法や費用などは左表の通りです。

A Q4 どうやって受けるの?
● 検診には指定の医療機関で受けれる**個別検診**と保健センターで受けられる**集団検診**があります。集団検診のスケジュールは左記の通りです。検診は事前予約が必要で、電話もしくは下部左側の二次元バーコードからweb予約できます。また、個別検診が受けられる指定医療機関の一覧表は、市ホームページで確認できます。

場所	日付	時間	胃がん	大腸がん	肺がん	前立腺がん	乳がん	子宮頸がん
関市保健センター ☎24-0111	11月17日(日)※3	午前8時30分～11時 午後1時～2時30分	●	●	●		●	●
	11月18日(月)		●	●	●	●	●	●
	12月15日(日)	午前 8時30分～ 11時					●	●
	1月19日(日)		●	●	●	●	●	●
	2月 6日(木)		●	●	●	●	●	●
	2月16日(日)		●	●	●	●	●	●
武芸川保健センター ☎46-2899	11月10日(日)	午前 8時30分～ 11時	●	●	●	●	●	●
	11月11日(月)		●	●	●	●	●	●

※3…11月17日は（日）は、女性限定の検診日です。



～がん体験者だからこそ、伝えられること～

検診は 自分の健康記録

70代男性：大腸がん



平成26年7月、市のがん検診で大腸がんの検査を受けました。検便で引っかかり、精密検査を受けたところ、結果は陽性。大腸上行結腸のステージ1でした。がんを削るか、切るかのどちらかで手術を行うことになり、完全に取りきることのできる切除を選択。15cm大腸を切りました。手術して2週間程度で退院。その後抗がん剤治療が始まり、2週間薬を飲んで1週間休むというサイクルを、約2カ月続けました。来年6月で5年経ちますが、今のところがんの転移や再発はありません。

検診は健康な人こそ受けた方がいいですよ。長年、市の検診を欠かさず受けてきましたが、その検診でがんが見つかりました。自分では健康だと思っていても、検診に行かないことにはがんは分かりません。私は、毎回検診を受けた書類を関市健康手帳に綴じています。1年に1回の検診は、自分の健康の積み重ねだと思います。検診で早期にがんを発見し、治療によりがんを克服できれば、その健康記録は1日でも長くなるはずです。

検診に 行かないことが 怖い

40代女性：乳がん



今から6年前、胸に痒みを感じ触ってみたら、石ころのようなものがあつて固く動かない個所があることに気づき、すぐに病院へ。1週間後に左胸下部に初期の乳がんが見つかりました。すぐに手術が必要でしたが早期発見だったため、仕事に支障をきたすことなく手術日も病院と調整できました。退院後は程なくして職場に復帰。生活や仕事への影響が出ると思っていましたが、ほぼ変わりませんでした。でも医者からは、あと2~3カ月発見が遅れていたらステージ2に進行し、こんなに早く復帰することは叶わなかっただろうとも。術後は、再発防止のために約3週間の放射線治療と3~5年間投薬治療を受けました。

家族や大切な人のために、自分の体を勞わりましょう。子どもの将来を見届け、大切な人と1日でも長く一緒に暮らすためには、検診に行くことが大事です。がんは見つかることが怖いのではなく、検診に行かず放置してがんが進行していくこの方が怖い。1年に1度の検診で、大切なあなたの命を守ってください。

がん検診＝検診+精密検査



市民健康課 課長補佐
可児 京子さん

検診の結果、
がんの疑いのある人に
精密検査を
受診するよう
ご案内しています。

H24の精密検査の受診率は80%程度でした。受診率の向上を目指して、3年前から対象者に電話などで受診を勧めたところ、H29の受診率は90%になりました。検診と精密検査はセットという認識を皆さんに持つ続けてもらうために、これからも力を入れていきたいです。